

学 年	教科等	単元名	日 時
第3学年	社会科	事件や事故からくらしを守る	令和6年2月9日(金)

1 本時の目標

これまでの学習を基に、事件や事故を減らし、安心安全に暮らすために自分たちにできることを考え、選択・判断し、表現することができる。

2 指導過程

学習活動及び学習内容（★は評価にかかわるもの）	「自律的に学ぶ」ための手立て
<p>1 本時の学習について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの復習 ○ 本時の学習問題（テーマ） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>宮崎市の事件や事故を減らし、安心安全に暮らすためには、どうすればよいのだろう。</p> </div> <p>2 本時の学習について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 考える立場 <ul style="list-style-type: none"> ・ 警察 ・ 地域の人 ・ 自分たち <p>3 宮崎市の事件や事故を減らし、安心安全に暮らすためにそれぞれの立場でできることを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 警察にできること <ul style="list-style-type: none"> ・ パトロールの回数を増やす。 等 ○ 地域の人にできること <ul style="list-style-type: none"> ・ 事故が多い場所で見守り活動をする。 等 ○ 自分たちにできること <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通安全ポスターを作る。 等 <p>4 宮崎市の事件や事故を減らし、安心安全に暮らすために自分たちにできることを考え、選択・判断する。（★）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防犯のための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 戸締りをしっかり確認する。 ・ 通学路にある「こども110番」のステッカーを探す。 等 ○ 交通安全のための活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 交通ルールを確認し、ルールを意識して登下校する。 ・ 交通安全ポスターを作る。 等 <p>5 本時の学習をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のまとめ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>宮崎市の事件や事故を減らし、安心安全に暮らすためには、警察や地域の人だけでなく、自分たちもできることをしていく必要がある。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ ふりかえり <ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの学習を生かすことができたか 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習をふりかえり、地域の安全を守る人々の働きや協力について想起させることで、テーマについて考える際に生かすことができるようにする。 ○ 「警察や地域の人が頑張れば事件や事故は減るのか。」と問うことで、自分自身の意識や行動にも目を向け、それぞれの立場で考えるという見通しをもつことができるようにする。 ○ 掲示物やノート、学習支援アプリ等の資料を見て考えている子どもに理由を問い、全体で共有することで、既習事項の資料を活用して根拠を明確にしようという思いをもつことができるようにする。 ○ 話し合いの際に、自分の考えの根拠となる資料を提示している姿を価値付けることで、誰のどのような働きを根拠にして考えたのかを明確にして話し合うことができるようにする。 ○ 自分たちにできることについて、自分の生活環境と関連付けて考えさせることで、「3」で出た意見を基に実現可能なものを選択・判断することができるようにする。 ○ 選択・判断したことを実践する日時や方法等具体的に記述している姿を価値付けることで、実践するための計画を立てようという思いをもつことができるようにする。 ○ 子どもの発言を基に本時の学習をまとめることで、事件や事故を減らすためには、自分たちの取組も大切であることを実感し、地域社会の一員としての意識を高めることができるようにする。 ○ ふりかえりを記述し、仲間と共有する時間を設定することで、学習を生かすことや話し合っって考えを深めることのよさを実感し、次の学習にも生かしたいという思いをもつことができるようにする。

3 本時の評価規準

これまでの学習を基に、防犯対策や交通ルールの確認等、自分たちにできることを考え、選択・判断し、表現している。
(思考・判断・表現)【記述分析・行動分析】

4 板書

2月9日(金)

単元の学習問題
みんなが安心安全にくらせるまちにするためには、どうすればよいのだろう。

学習問題
宮崎市の事件や事故をへらし、安心安全にくらすには、どうすればよいのだろう。

これから自分が取り組みたいこと
・あぶない場所さがし
・ポスター作り
・もっと広いほいでゴミ拾い
・自分も事故に合わないように

まとめ
宮崎市の事件や事故をへらし、安心安全にくらすためには、けいさつ、地いきの人、自分たちが協力し合うとよい。

自分たち
・防犯カメラのよひかけ
・地いきの人へのアドバイス
・パトロールを多くする
・事故がなけどうをパトロール

注意する
・ポスターを作る
・ゴミ拾い
・あぶない場所さがし
・暗道を通らない

協力
市役所の人
警察の人
地いきの人

宮崎市中でおこった交通事故の数
2010年 2011年 2012年 2013年 2014年

宮崎市中でおこった事件の数
2010年 2011年 2012年 2013年 2014年

入って行くけどまだ多い
さいばんえい

交通安全の取り組み
交通安全教育
パトロール

青色パトロールたい
見守り活動
ゴミ拾い

けいさつの人
地いきの人

5 指導講評

宮崎県教育庁 義務教育課 島崎 博英 指導主事

- 子どもが社会的な見方・考え方を働かせるためには、教師の発問が必要である。本時は教師の発問を基に、子どもが社会的な見方・考え方を働かせる学習問題がつくられていた。
- 本時は、第3学年はまとめを1つに収束し、第5学年は個に委ねていた。発達段階や授業の目的に応じて、まとめをどうするのかを考える必要がある。
- 子どもが本当に問題を自分事として捉え、試行錯誤しながら学習できるような授業を考える必要がある。

6 考察

- 子どもが主体的に学習問題を設定し、「宮崎市の事件や事故を減らすために警察や地域の人にできること」について、これまでの学習の資料を基に考えたり話し合ったりする姿が見られた。問題意識をもち、学習したことを根拠にしようとする態度が育ってきていると考える。
- 宮崎市の事件件数の推移のグラフを提示した際、子どもが「なぜ事件の数が増えているのだろう」と問いをもつ姿が見られた。子どもの問いをそのまま本時の学習問題にすることで、子どもがより主体的に活動できたのではないかと考える。
- 「宮崎市の事件や事故を減らすために自分たちにできること」を考える活動を設定したが、自分の生活と関連付けて記述している子どもが少なかった。「自分の生活のなかで実現可能か」という視点を与え、記述したことを見直したり、仲間と話し合ったりする時間を設定する必要があると考える。
- 本時は、「これまでの学習が生かされたか」という視点でふりかえりを行わせた。しかし、教師がふりかえりを促すのではなく、子どもが自ら「今日はどのような学習をしたかな」とふりかえりたくなるような手立てを追究していく必要があると考える。